

しほん りょうてっこうざんおやまうちならびにこうろのず  
紙本 両 鐵 鉞 山 御 山 内 並 高 炉 之 図

指定種別：県指定文化財

指 定 日：昭和 49 年 2 月 15 日

所 在 地：釜石市大平町（釜石市立鉄の歴史館）

制 作 年：文久元(1961)年～文久 3 (1863)年

寸 法：1 巻 幅 27 cm 長さ 869 cm 重量 236 g

2 巻 幅 26 cm 長さ 606 cm 重量 170 g

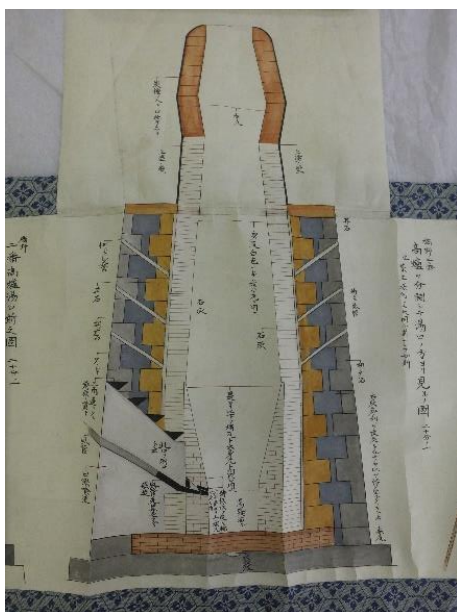


紙本両鐵鉞山御山内並高炉之図は、鉞山の業務報告として盛岡藩お抱えの絵師が描いたものと推測されます。

1 巻は大橋と橋野の高炉、各採掘場の位置や設備配置図、個々の高炉や装置の設計図が描かれています。

2 巻は採掘から製鉄までの工程が詳細に描写されています。

「橋野御山内惣略図」中で、のちの三番高炉が「仮高炉当時不用」とあり、大橋では二番・三番高炉が増設されていることから、文久元(1961)年～文久 3 (1863)年に描かれたものと考えられます。



上：湯口前働の図

左：橋野二番高炉ヲ分開シテ湯口ノ方ヨリ見ルノ図